

議会だより

う

ち

こ

Vol. 40

令和4年2月
発行

11月臨時会・ 12月定例会 概要

P1

予算決算常任委員会 P4

総務文教常任委員会 P6

産業建設厚生常任委員会 P6

議会改革特別委員会 P7

編集委員の調査・レポート P8

令和3年度財務監査報告 P9

一般質問(6名) P10

報告 P17

VOICE～みなさまのごえ～ P18

議会の主な活動 P19

【内子座を英語でガイド！】

モデル：内子町外国語ガイドの会

大野千景さん(右端)と宮岡美輝さん(左端)

当号表紙撮影 久富 直美 さん



臨時会・定例会

11月臨時会

第120回臨時会が11月19日、
第121回臨時会が11月29日に
開催されました。

第120回臨時会

議 認

◎令和3年度内子町一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについて（全会一致で承認）

※新型コロナウイルス感染症対策として「えひめ版応援金給付事業（第2弾）」に関する予算。経営への影響の長期化が懸念されるため、さらなる感染防止対策の徹底と事業の継続に向け、将来に向かって効果が持続するような取り組みに応援金を支給する。

総額4500万円の予算を10月12日に専決処分

条 例

◎内子町へき地保育所条例を廃止する条例について（賛成多数で可決）

◎内子町へき地保育所保育料徴収条例を廃止する条例について（賛成多数で可決）

議 案

◎令和3年度内子町一般会計補正予算（第8号）について（全会一致で可決）

一般会計 補正予算（第8号） 可決 3,108万4千円 追加（予算額累計 105億7,834万4千円）

新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の体制確保に関する予算や二酸化炭素濃度測定器46台を整備する予算などを計上。

第121回臨時会

条 例

◎内子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◎内子町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

◎内子町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

※全ての条例、全会一致で

可決



12月定例会

第122回定例会が
12月6日から15日までの
10日間の会期で開催されました。

6日

町長招集挨拶及び行政報告

一般質問（4議員）

全員協議会

7日

一般質問（2議員）

議案提案

●発議「内子町議会会議規則の一部改正」

●条例制定2件

●条例改正2件

●指定管理者の指定1件

●規約の変更2件

●財産の処分1件

●補正予算5件

●人事案件1件

議決（2件）

議会広報常任委員会

8日

総務文教常任委員会

産業建設厚生常任委員会

9日

予算決算常任委員会

全員協議会

15日

追加議案提案

●補正予算1件

●報告1件

各委員長から審査報告

議決（14件）

「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋め立てに使用しないことを国に求める意見書の提出についての請願」は、産業建設厚生常任委員会へ付託。



◆賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対

※菊地議長は本会議の表決には加わらない。

議 案 名	城戸 司	塩川まゆみ	関根 律之	向井 一富	久保 美博	森永 和夫	菊地 幸雄	泉 浩壽	大木 雄	山本 徹	才野 俊夫	下野 安彦	林 博	山崎 正史	寺岡 保	議決結果
内子町へき地保育所条例を廃止する条例について	○	×	×	○	○	○	※	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
内子町へき地保育所保育料徴収条例を廃止する条例について	○	×	×	○	○	○	※	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

内子町へき地保育所条例を廃止する条例について 討論



地域住民が保育園の存続を願い、638名の署名を提出したが、廃園ありきで理事者は聞く耳を持たず、子育て世代の経済的負担増を考えていない。

大木 雄 議員



子育て世代にとって地域の保育教育施設の有無というのは、移住を決定するにあたり大変重要な要素である。保育所の廃止は石畳地区の今後の地域デザインと矛盾する。

塩川まゆみ 議員



8月15日の全員協議会で説明があった様々な意見が出たにもかかわらず、その後、今日に至るまで、地元と該当する保護者の方に説明を尽くされていない。

関根 律之 議員



石畳保育園に対する今までの町の対応は、瑕疵がなくふさわしいものである。

林 博 議員



子育てや保育は、ある程度の数がある中で切磋琢磨していくことが大切だ。

下野 安彦 議員



4名以下になれば閉園するという地元との合意は得られている。入園予定者が減る一方であり、行政は約1年間かけて地域との対話を重ねてきている。

山崎 正史 議員



保育園の役割は、子どもたちが集団生活の中で多様な人と出会い、様々な体験を積み重ねて成長し、発達していくものだ。

久保 美博 議員

議決結果

賛成11、反対3で可決されました。

CHECK!

総務課 政策調整班
0893(44)6151

【問い合わせ】
補助対象経費は住宅の改修以外にも次のことが補助対象になる。
①車庫、物置、倉庫、門扉、壁等の工事及び植樹、剪定、除草等の植栽工事（住宅の改修と合わせて行うものに限る。）
②入居又は住宅の改修のために不要な家財道具の搬出入、処分又は清掃

問 利用される方の年齢制限はあるのか。
答 総務課 同居する中学生以下の子どもがいる子育て世帯と、家族のうち、少なくとも1人が60歳未満である働き世帯である。

移住者住宅改修支援事業
歳出予算額290万円

総務費

◎令和3年度内子町
一般会計補正予算(第9号)

補正予算審議

一般会計 補正予算(第9号)	7,745万6千円 追加 (予算額累計 106億5,580万円)
一般会計 補正予算(第10号)	2億2,833万8千円 追加 (予算額累計 108億8,413万8千円)
国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	4万2千円 減額 (予算額累計 21億6,381万3千円)
介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	9,918万円 追加 (予算額累計 27億3,756万4千円)
小田分校寄宿舎特別会計補正予算(第1号)	347万3千円 追加 (予算額累計 1,892万1千円)
下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入及び支出 200万円 減額 (予算額累計 2億6,658万2千円) 資本的収入 208万5千円 追加 (予算額累計 1億3,847万5千円) 資本的支出 208万5千円 追加 (予算額累計 1億9,648万4千円)

【議案】

発議、人事案件及び一般会計補正予算(第10号)以外は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されました。委員会での審査内容は4～6ページに抜粋掲載しています。

◆全会一致で可決・同意・受理された議案

付託先	(総) 総務文教常任委員会 (産) 産業建設厚生常任委員会 (予) 予算決算常任委員会
-----	---

発議

◎内子町議会会議規則の一部改正

条例の制定

◎内子町行政手続等における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定(総)
◎内子町田渡地区交流宿泊施設条例の制定(総) 6ページ

条例の改正

◎内子町国民健康保険条例の一部改正(産)
◎内子町国民健康保険税条例の一部改正(総)

指定管理

◎内子町障害者地域活動支援センター「かいと」の指定管理者の指定(産) 6ページ

規約の変更

◎愛媛県市町総合事務組合理約の変更(総)
◎八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合理約の変更(総)

財産の処分

◎愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分(総)

補正予算

◎令和3年度内子町一般会計補正予算(第9号)(予) 4・5ページ
◎令和3年度内子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(予)
◎令和3年度内子町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(予)
◎令和3年度内子町高等学校小田分校寄宿舎特別会計補正予算(第1号)(予)
◎令和3年度内子町下水道事業会計補正予算(第2号)(予)
◎令和3年度内子町一般会計補正予算(第10号)

人事

◎内子町教育委員会委員の任命

報告

◎専決処分の報告
(専決第16号 議会の議決に付すべき町の義務に属する損害賠償の額を定め和解することについて)

全会一致

可決・同意・受理

一般会計補正予算の主な内容は各事業において入札減少金の補正、コロナ禍で事業中止による事業費組み換え、感染防止対策費追加、各施設の経年劣化に伴う修繕費等、審査は、予算の根拠、どのような効果が期待できるかといったことに着目しています。

民生費

国の保育対策支援事業
新型コロナウイルス感染症対策のために、町内の認可保育施設の5施設にマスク等の衛生用品を購入する。
歳出予算額50万円

問 各施設の規模が同等で同じ人数だから、一律10万円の解釈でよいのか。
答 子ども支援課 保育士の数は違うが、国からの通知で1施設10万円である。

衛生費

藤華苑運搬車の経年劣化による駆動部分の取り換え。
藤華苑は平成10年12月1日から開設 歳出予算額93万2千円

問 本来ならばそれぞれの炉に対して、台車があったのか、それが1台になったのか。
答 住民課 最初から1台しかない。機械の部分については、修繕をしておらず、時々駆動部(モーター)自体の不具合等があるので、早急に対処したい。

本年度末の立川幼稚園の閉園に伴い、不要備品の処分及び粗大ごみの排出量の増加等を見込み 歳出予算額130万円

問 教育費でなく町の施設なので、塵芥処理費として予算化するという考えなのか。他の町の施設の閉園、閉鎖等に伴うものも全てそうか。
答 環境政策室 各部署で不要になった備品は環境政策室で預かり毎年処分をしている。

問 粗大ごみのリサイクル、再利用などは。
答 環境政策室 リユースとしての使用について確認を取り、利用を希望の方に提供している。

委員会での採決の結果は、原案のとおり

可決

宿泊利用料金

区 分	中学生以上	小学生	幼 児
洋室	1ベッド当たり 2,000円～6,000円	1,000円～4,000円	—
和室	1部屋当たり 1,000円～5,000円	1,000円～4,000円	—
	1人当たり 1,000円～5,000円	1,000円～4,000円	200円～2,000円

※幼児とは、3歳以上小学校就学前までの者をいう。

施設利用料金

和室又は 談話室1 部屋当たり	1時間当たり	備 考
	200円～ 3,000円	シャワーの利用がある場合は、利用料金に1時間当たり200円から3,000円を加えた額とする。空調を利用する場合は、利用料金の50%を加えた額とする。



交流施設に生まれ変わる旧田渡幼稚園

問 施設環境の変化や物価の変動に備え料金体制に幅を持たせている。指定管理者がこの範囲の中で料金を設定する。

答 自治・学習課

問 宿泊利用料金や施設利用料金に幅があるのはなぜか。

内子町田渡地区交流宿泊施設条例の制定について

総務文教常任委員会

農林水産業費

農林水産費県補助金、鳥獣被害防止総合対策事業費補助金の内示あり。
歳入予算額80万円

問 近年の有害鳥獣の駆除件数が増加傾向にあるのか、そして、被害額の増減は。

答 農林振興課

イノシシは、平成30年度は1年間通して1496頭、平成31年度は1043頭、令和2年度は1858頭。今年度10月末までの途中実績では833頭。被害額は農業共済の情報では、平成30年度が810万3千円。平成31年度が1025万9千円。令和2年度が591万8千円。



論田地区で捕獲されたイノシシ

教育費

小学校の教育振興費
小田深山集団宿泊研修をコロナ禍により日帰りで実施したため、70万2千円減額。

問 コロナ禍で大変行事が少なくて思い出を作れない学校生活を送るのはかわいそうな思いがある。集団生活を1泊にするのと日帰りにするのでは、生徒児童にとっては、体験等の成果に大きい差があるのではないか。何か工夫ができたのか。

答 学校教育課

コロナ禍で安全に事業実施することを考えた場合、どうしても日帰りでという決断になった。

社会教育費

内子スポーツセンターの照明施設LEDリース料としての債務負担行為、900万9千円を入札の結果にともない303万2千円に減額。

問 最低制限価格がないということだが適正価格というものがあるのでは。

答 自治・学習課

当初の見積りは、枠組足場を設置する施工であったが、実際の施工は室内で使用できる高所作業機械での施工とする入札となったため大幅減となった。指名入札で7者を指名し参加は3者であった。



高所作業機械での照明施設の設置

産業建設厚生常任委員会

内子町障害者地域活動支援センター「かいと」の指定管理者の指定について
社会福祉法人 宗友福祉会（松山市）を令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間、指定管理者として指定する。

問 指定管理者に委託して運営をするメリット、デメリットは。

答 保健福祉課

新たな指定管理者はいろいろな障害福祉のサービスを提供している団体なので利用者に合ったサービス提供が行われる。デメリットとしては、運営が変わるということで、現在の利用者は、少し環境が変わる。

問 そのまま事業を引き継いでもらうのか。

答 保健福祉課

利用者が現在と同じように利用できるよう運用してもらい、職員の雇用も引き継ぐ。職員は町内からの雇用を要望していく。



内子町障害者地域活動支援センター「かいと」

委員会での採決の結果は、原案のとおり

可決

可決

- ◎令和3年度内子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎令和3年度内子町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◎令和3年度内子町内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計補正予算(第1号)
- ◎令和3年度内子町下水道事業会計補正予算(第2号)

全ての補正予算は全会一致で



ハワイからのお客様に内子座を解説
(2019年)



愛媛大学の留学生のみなさんと (2019年)

が、そんな中でも町内のA L T (外国語指導助手) や外国籍の方、愛媛大学の留学生を案内したり、ガイド能力と英語力向上のための学習会や研修などを行っています。また、内子小学校の6年生が内子町の観光などについて学ぶ総合学習の授業や、内子高校の国際交流の授業などにも協力したことがあります。

「内子町外国語ガイドの会」は、町民ボランティアが、国内外からの観光客を主に英語(フランス語、中国語にも対応)でガイドする団体です。町並みや内子座などの代表的な観光スポットをはじめ、希望に応じて天神産紙や石畳方面も案内します。平成18年の活動開始以来、これまで延べ2千人の外国からのお客様を案内してきました。2021年12月現在、英語が大好きな小学生も含め、会員は15名です。

ここ2年、コロナ禍のためにガイド活動は大幅に縮小しています

編集委員の調査・レポート

(塩川 まゆみ 委員)



最年少の実輝ちゃん(小3)のガイド! とても上手です



アメリカからのご夫婦と

「つたないながらも、ガイドを通して交流させていただく... そんな楽しい活動が突然のコロナパンデミックで一変。かつてのガイドの時間がいかに平穏なひと時であったかを痛感しています。コロナの完全な終息を願い、会員一同、再び笑顔でおもてなしできる日を心待ちにしています」(会長・芳我律子さん 左から1番目)

会を立ち上げた薦田和子さんは、ガイドの楽しさを次のように語ります。「初めて私の英語が通じた時の大きな感動が、ガイドの会を作るきっかけになりました。ガイドをした外国の方を訪ねてイギリスに行ったり、ドイツの方が我が家にホームステイしたりという交流もあります。我が会のモットーは『フレンドリーなガイド』。みなさんもハローの一言からトライしてみませんか? You can do itです!」

草の根国際交流、とても楽しそうです。ローテンブルクと姉妹都市なので、ドイツ語のガイドもできたら素敵ですね。ちなみに英語以外の言語の会員も常時募集中です!

会員 常時募集中!

興味のある方はビジターセンター ☎(0893-44-3790)までお問い合わせください。

1 改革

議員のなり手不足解消、家庭との両立、多様な議員の確保

- ◎これまで「事故」のみだった欠席理由を「公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」に変更。
- ◎産前6週間、産後8週間の産休を整備。(会議規則の改正)

2 改革

請願者の利便性向上

- ◎請願手続きの押印を廃止(会議規則の改正)

3 改革

子育て世代も傍聴しやすく

- ◎子ども同伴でも傍聴可能に!
- ◎技術革新等に伴い、新たに携帯電話・スマートフォン等の持ち込みルールを追加(傍聴規則の改正)

4 改革

男女の議員活動がしやすく

- ◎旧姓使用の取り扱いを明記(議員旧姓使用取扱要綱の制定)

5 改革

誰にでも分かりやすい質問方式に

- ◎一般質問を「一問一答」方式に統一。議員の質問時間を40分から30分に変更。

「一問一答」方式とは

質問1→答弁→質問2→答弁→質問3→答弁...のように交互になる形式。

CHECK!

今後の主な検討課題

- ◎議会のICT化→定例会や委員会のオンライン配信、タブレット活用によるペーパーレス化の推進
- ◎町長・町議会議員の同日選挙の可能性
- ◎議員定数、議員報酬の見直し

6月定例会で議会改革特別委員会の設置が可決されて以来、委員会を4回(第1回7月16日、第2回8月20日、第3回10月15日、第4回11月19日)開催しました。

委員はこの半年間、それぞれに町民の意見を聞いたり、他議会の現状などを情報収集し、それを委員会に持ち寄って検討を重ねました。その後、まとめた案を議長へ答申、全員協議会で協議し、12月議会内で内子町議会会議規則の一部改正を提出し、可決。併せて傍聴規則の改正、旧姓使用取扱要綱を制定、12月8日より施行されました。



詳しい内容については内子町ホームページの「内子町議会」をご覧ください。



<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

「住民意見交換会」への参加者を募集します

議員定数や議員報酬、内子町の施策などについて、議会改革特別委員会と住民のみなさんとの意見交換会を行います。

【日時】令和4年4月又は5月頃

【場所】町内の公共施設

【募集対象】町内に住んでいる有権者

【募集期間】令和4年2月1日～3月15日

【申込先】内子町議会事務局 ☎0893-44-2115

gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

※電話又はメールで議会事務局までお申し込みください。申込者に改めて開催日時などお知らせします。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により人数制限する場合があります。

町政を問う！

内子町ホームページ
「議会事務局」



【質問通告書内容】

森永 和夫 議員

- ◎「新型コロナウイルス感染症」県との連携について
- ◎成人式コロナ対策について
- ◎えひめ版応援金について
- ◎龍王公園の管理について

11ページ

向井 一富 議員

- ◎防災減災について
- ◎林業行政について
- ◎デジタル行政について
- ◎地域交通の維持について

12ページ

城戸 司 議員

- ◎新型コロナウイルス感染者の支援について
- ◎町民、事業所の支援について

13ページ

塩川まゆみ 議員

- ◎バリアフリー化推進について
- ◎教育費の負担軽減について
- ◎不在所有者による地域の放置資産対策について

14ページ

関根 律之 議員

- ◎小規模小学校の存続
- ◎就学援助制度
- ◎中学校校則の見直し
- ◎中山間地域の過疎・耕作放棄地対策
- ◎国民健康保険税の均等割部分の5割減額の対象者拡大

15ページ

下野 安彦 議員

- ◎予防接種について
- ◎公共交通機関との観光連携について
- ◎税のキャッシュレス化について

16ページ



当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。

議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」〔会議録〕のページをご覧ください。

※会議録のホームページ掲載は「議会だよりうちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

令和3年度前期(4～9月) 財務監査の監査委員報告



議会選出の監査委員
森永 和夫



代表監査委員
赤穂 英一

地方自治法第199条第4項及び内子町監査基準に基づく財務監査を実施した結果、一般会計、特別会計、公営企業会計の各種事業は、前期(4～9月)において全体的には問題なく進捗しており、また、新型コロナウイルス感染症に関連する対応で業務・事業が集中する中において、執行内容も適正に処理されていると認めた。主な意見は、次のとおり。

事務処理について、先の例月現金出納検査等で指摘した事務処理不適切事案は、厳正な調査の結果、関係職員が懲戒処分(停職2ヶ月)に処せられた。不適切事案が発生すると処理に多大な事務量が必要となるばかりでなく、行政の信頼を損なうことに繋がる。本来の事務処理手順の遵守と管理者の事務管理を一層徹底することとして、簡易版の内部統制(内部牽制及び内部監査の充実)の導入を検討している。再発防止を徹底されたい。

公用車の管理について、今回も職員の不注意による公用車の損傷案件が散見された。中には3年連続の部署もあつた。新たに運行日誌を設置するなど、改善策に取り組んでいるが、物品の調達費や修繕費の財源は、税金であることを常に認識し、職員への注意喚起・再発防止を徹底されたい。

電算・システム関連の委託料は、同一システムを運用している他の自治体との広域化・共同開発の検討や情報交換を行い検証中である。検討事項や多くの業務を対象とした自治体のクラウド導入が本格化すれば、経費削減が期待できる。

▼詳しくは内子町ホームページ「監査委員事務局」をご覧ください。
<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/21/>



財務監査の様子(10月20日～25日実施)

新型コロナウイルス感染症対策を問う



森永 和夫 議員

【新型コロナウイルス感染症対策】

問 町と愛媛県は、町民の感染者情報を共有することが必要不可欠と考えるが、連携はできているのか。

答 保健福祉課長

感染症法では、感染症対策の実施主体は、都道府県及び保健所設置市だが、新型コロナウイルスの陽性者、濃厚接触者については愛媛県がしっかりと対応していると認識しており、個人が特定されるような情報の提供は無い。

問 なぜ県は市町に対して個人を特定する情報を流さないのか。

答 保健福祉課長

感染症対策は県がノウハウを持つ

ており、感染したことを知られたくない方が多いため、本人の意向も含め、差別に繋がるような情報は流さないと考えている。

【自宅療養者への対応】

問 買い物や外出の自粛が求められる自宅療養者に対する食料品提供など、生活支援は住民にとって一番身近な行政を担う町の役割と考えるが。

答 保健福祉課長

生活支援は基本的に県が行い、対応できない事態となった場合や、陽性者等の意向により各市町に生活支援の要請を行うが、現在、そういった状況が発生したケースはない。

問 町としてどういう姿勢で感染者、自宅療養者に対して向き合うのか。

答 町長

県保健所が感染者と密に連絡をとりながら対応している。どうしても町の方でやってほしいという案件についてはしっかりと対応していきたい。

【災害時の対応】

問 感染者の自宅療養中に、台風や豪雨により、避難を余儀なくされた場合、どう対応するのか、具体的な対策が策定されるのか。

答 総務課長

県との事前確認が行われており、土砂災害警戒区域や浸水想定区域などに住まわれている方は、原則として、宿泊療養施設か入院で調整されることになっている。

【成人式のコロナ対策】

問 成人式参加者全員に対しPCR検査もしくは抗原検査を実施する考えはないか。

答 教育長

抗原検査はPCR検査に比べて感度が低く、無症状者に実施する場合は検知しにくいと言われており、総合的に判断した結果、県外からの参加者だけを対象にPCR検査を実施する。



防災、林業、デジタル行政を問う



向井 一富 議員

【防災・減災】

問 町道の予防的点検修繕は。

答 建設デザイン課長

町道は848路線、延長588kmと膨大な数に上っており修繕に時間を要しているが、必要予算の確保に努め、支障が生じないように適正な管理に努める。



陥没している町道

問 集落の生活用水路の予防的点検修繕は。

答 建設デザイン課長

愛媛県と情報を共有し、相互が管理する施設において、県と連携し一体的な修繕を行うなど、効率的な減災に取り組んでいく。

問 学校での防災教育の現状は。

答 学校教育課長

各学校で、学校防災マニュアルを作成し、隣接する保育園や小学校・中学校や地元自治会と連携をしながら計画に沿った避難訓練を実施している。また、事前予告なしで時刻も様々な時間帯で工夫しながら訓練を重ねている。

【林業行政】

問 森林環境譲与税の内子町の現況は。

答 農林振興課長

令和元年度より譲与されており、令和2年度は5178万円で、環境林整備事業切り捨て間伐等に2400万円、林道等の補修に6000万円充当し、2178万円を基金に積み立てた。

【デジタル行政】

問 内子町のマイナンバーカードの普及状況と、保険証との紐付け状況は。

答 住民課長

内子町のマイナンバーカードの普及状況は、交付率34・74%。全国の平均と比較して、マイナス4・36ポイントとなっている。

答 保健福祉課長

マイナンバーカードの国保保険証への紐付け状況は、全体の被保険者の4%である。マイナンバーカードを健康保険証として利用する場合、顔認証付きのカードリーダーが必要

問 森林経営計画管理法が施行されたが、内子町の具体的な取り組みは。

答 農林振興課長

内子町森林組合や愛媛県と協議をし、誰がどの森林をどのように管理しているか、今後森林管理を所有者自らが行うのか、森林組合などの林業事業体に委託するか、町に対して委託したいのかなどの調査を、立石地区からモデル的に始める。

【龍王公園の管理】



龍王公園の藤

問 平成26年の一般質問に対し計画的に管理していくとの答弁があったが、藤棚は通行止めになっている。この7年間どう管理されていたのか。

答 建設デザイン課長

年間3回の草刈り、ゴミ拾い、梅園等の樹木の剪定、遊具や施設の定期的な点検、並びに修繕など、公園利用に支障が出ないよう管理に努めている。

問 藤棚が通行止めになった理由は。

答 建設デザイン課長

今の状況を鑑み、意見集約の場を持ち、次年度から事業が進むように準備し、これから遅滞なく改善に向けていきたい。

であるが、利用できる病院、薬局等現時点では内子町にはない。

問 サイバー攻撃対策は。

答 総務課長

内子町では、愛媛県自治体情報セキュリティクラウドを利用しており、庁舎内部は、データの一元管理や職員用パソコンへのウイルス対策ソフト導入、職員に対するセキュリティ対応訓練の実施など、セキュリティに対するリテラシー向上に努めている。マイナンバーや住民基本台帳、税情報などを取り扱うシステムは、物理的に遮断されたネットワークにおいて運用している。

【地域交通維持】

問 デマンドバスの運営状況は。

答 総務課長

平成31年度と比べ運行便数で14・0%、利用者数で17・9%減少している。民生児童委員、高齢者のサロン、運営業者などからご意見を伺い、町内の輸送資源やNPO法人、また、地縁団体などによる、地域の助け合いとしての運送も認められてきているので、状況を踏まえながら、ニーズに応じた効率的な公共交通のあり方について検討し改善していきたい。

コロナ感染者にしっかりと支援を！



城戸 司 議員

【新型コロナ感染者への支援】

問 これまでの感染者は十分な支援を受けることができていたか。

答 保健福祉課長

愛媛県や療養者から内子町に対し、支援の要請もなく、町が支援を行うような状況にはならなかったことから、陽性者に対する生活支援は行ったことがない。

問 感染者が、八幡浜保健所の担当者から「備蓄があるか。無くなったらCO・OP（生協）などを利用してください」と言われたと聞いた。

答 保健福祉課長

今後、感染者がいた場合には、保健所の対応も踏まえて、町で支援

できることがあれば、支援する。

問 第6波が来たときに第5波同様、八幡浜保健所の対応が十分でない状況が予想される。内子町として、現在どのようなものを準備しているか。

答 保健福祉課長

感染者や濃厚接触者に対しては、県が対応することになっているが、本人や県から要請があった場合は、内子町も積極的に支援を行っていきたい。

第6波に対する準備は、感染拡大防止に向けて、感染予防対策をしっかり啓発していくことが重要だと考える。現時点における新型コロナウイルス感染症に対する一番の対策は、ワクチン接種と考える。5歳から11歳のワクチン接種は、早ければ来年2月に始まる可能性がある。

準備を進めるよう通知が来ている。まずは、国や県の情報を的確に把握して、適正に対応していきたい。感染者の対応は、保健所と連絡を密にとり、きめ細かな対応ができるように今後、連携をとっていきたい。

【まだワクチン接種がお済みでない方へ】

3回のワクチン接種を無料で受けるためには、お住まいの市町で

1月9日までに1回目の接種を受けていただくことが必要です。

1回目接種 (R4年1月9日まで)

2回目接種 (R4年1月30日まで)

ファイザーの場合

約3週間 (1回目)

原則8か月間 (2回目)

ワクチン接種期間は R4年9月30日まで (3回目接種を含む)

※令和4年9月30日までは新型コロナワクチン接種は無料です。

(愛媛県ホームページより)

【町民、事業所の支援】

問 がんばる内子のまち応援チケットの申し込みはどのような条件があるか。

答 商工観光班長

商工会会員であって、一般食堂、レストラン、喫茶、各種商品小売業

「来てよし、住んでよし」のまちを実現



塩川 まゆみ 議員

【バリアフリー化推進】

問 総合計画にも「まちづくりにおけるユニバーサルデザインの採用」とあるが、国のバリアフリー法改正を受け、基本構想やマスタープランの作成予定は。

答 建設デザイン課長

ユニバーサルデザインの採用は各課共通の重要施策であり、施設等の新設時にはバリアフリー法の基準に適合するよう努めている。基本構想等の作成予定はないが、今後も総合計画を進めていく中で課題に対応する。

問 町内の主要観光施設や町並み地域、内子商店街のバリアフリー化の現状は。

答 町並・地域振興課長

一部主要観光施設では多目的トイレやスロープ等を整備済みだが、内子座等の伝統的建造物は段差も多く、職員の介助で対応している。内子商店街の現状は把握していないが、今後は把握に努め、関係団体と協力して対応していきたい。

問 倉敷市「おもてなしマイスター制度」を参考にしたい。

答 町並・地域振興課長

内子町観光協会とも情報共有し検討したい。

問 点字メニューや手すり等の整備費用を助成する「合理的配慮の提供を支援する助成制度（明石市ほか）」の導入は。

答 町並・地域振興課長

来訪者や商店主等の意見を聞きながら検討したい。

【「隠れ教育費」の負担軽減】

問 憲法26条で「義務教育の無償」



「隠れ教育費」大変です！

が定められているが、給食費や教材費、制服等の学校指定品等「隠れ教育費」による家計負担は重い。子育て支援としてこれらの負担軽減に向けた取り組みは。

答 学校教育課長

就学援助費、修学奨励費がある。学校でも教材の精選や制服リユースなど負担軽減の取り組みがすでにあるので、継続していく。

問 就学援助制度の対象外となる「中間層、町の平均所得約250万円前後の世帯の負担は特に重い。これらの軽減について町長の考えは。

答 町長

教育費の課題は認識している。子育て支援として高校生までの医療費無償化を行った。次年度からは公園の整備等子育て支援の取り組みをさらに進める予定もある。現時点では、経済的負担の軽減策は困難である。

理美容やあん摩、マッサージ業などが申し込み対象となっている。

問 町が予算を支出しているが、商工会員以外は申し込みができていないのか。

答 商工観光班長

事業主体は、商工会が行っており、基本的に対象は商工会員としている。今回のこの事業は、非会員でも一時的に会員になれば参加対象としている。

問 町内の事業所や町民に対して、現在計画している今後の支援は。

答 商工観光班長

国は売り上げが急激した中小事業者に事業復活支援金、観光支援事業でGO・TOトラベルの再開を打ち出している。愛媛県では、「県内宿泊割引キャンペーン」が始まっており、「えひめ版応援金第3弾」の支援が予定されている。

内子町では、国や県の支援策と連携する形で「ステイキャンペン事業」を実施しているが、今後の動向を見ながら支援が必要であれば検討していきたい。

【不在所有者の放置資産対策】

問 平成27年の調査では空き家数は670軒であるが、この中で緊急度が高い72軒の現況及び今後の対応は。

答 建設デザイン課長

72軒中特に危険なものが35軒、内26軒は除却済み。残り9軒も対応中である。

問 町内に不在の所有者による放置資産（山林、農地等）問題の解決に向けた取り組みは。

答 農林振興課長

地域の農業委員とも協力しているが、未相続の山林や農地が多い。まず適正に相続・管理していただく必要がある。

問 相続未完了の方への対応は。

答 農林振興課長

窓口手続の数ヶ月後に再度連絡したり、広報等で周知に努めている。

問 寄付や遺贈については。

答 農林振興課長

町の資産にすると管理に費用がかかるので、これまで寄付を受けたことはない。

小規模小学校の存続、中山間地域の過疎・農地対策は



関根 律之 議員

【小規模小学校の存続のために】

問 利用者減少により、立川・石畳地域では、今年度で幼稚園・保育園が閉園となる。立川小・石畳小の児童数はそれぞれ20名と8名。立川小・石畳小に、校区外から通学を希望する児童がバス等で通えるようにできないか。



立川小学校児童の登校の様子

答 教育長
今後、地元の方たちと話し合いの中で、いろんな意見が出たら、話し合いは進んでいくと思う。

【就学援助制度は】

問 経済的理由により就学困難な小・中学生の保護者に、入学準備金・学用品費、給食費、就学旅行費などを補助する同制度。令和元年度全国の就学援助率は14・5%。内子町で受給した児童・生徒数と割合は。

答 学校教育課長
令和2年度は77名、7%。3年度は80名、7・4%。

問 全国平均と比べ受給率が半分以下と低いのは、本来受給できる世帯で申請していない方が多いか、あるいは認定基準が厳しすぎるのではないか。

保護者への制度案内文書に、受給対象の可能性があるかをよりわかりやすくするため、具体的要件や所得金額の例を示せないか。

答 学校教育課長
所得ではなく、収入見込みとしていえるのは、現時点での苦しさが一番反映できると思っているから。過去からの経緯はあるが、今後、合理的に判断、認定できる仕組み作りを協議していく必要があると考えている。

【中学校校則の見直し】

問 今年度に入り、中学校の校則内容やその指導に関し、必要かつ合理的な範囲を超えているのではないかという指摘が報道等ではなされている。町内中学校の校則見直しの取り組みを、どのようにとらえているか。

答 教育長
各学校の実情に合わせて、今年度内に校則検討委員会を開催する予定。次年度からは、各校の規則に沿った検討の流れで実施される。

【中山間地域の過疎・耕作放棄地対策】

問 中山間地域の農地の補助対象を、集落単位だけでなく個人単位で耕作や、作付けをしなくても耕うん

や草刈りをした場合に、農地の固定資産税の減免が受けられるような制度を検討できないか。

【農林振興課長】

中山間地域等直接支払い制度は、内子町では個人での取り組みはないが、61集落が制度を利用し、農地の維持管理に取り組まれている。固定資産税の減免は考えていない。

問 中山間地域の農地を町が借り上げ、都市部の住民などの希望者に貸し出すことは。

【農林振興課長】

耕作放棄地対策、都市部との交流人口増を図るために取り組む重要な課題だが、比較的農業環境の条件のよい町民農園でも、空き区画がある状況。

中山間地域の農地は、営農環境として条件が悪く、都市部の住民の方への貸し出しは不向きであり、町の維持管理の費用に対する効果は見込めないと考える。



国道56号線沿いの耕作放棄地の田んぼ

スマホ決済・・・時代の流れに遅れるな！



下野 安彦 議員

【予防接種について】

問 乳幼児やこどもへのワクチン接種の種類と接種状況は。

【保健福祉課長】

ロタウイルス感染症、BCGやB型肝炎、ジフテリアやポリオなどの4種混合、水痘、麻疹風しん混合、日本脳炎など11種類がある。日本脳炎の第2期、2種混合は対象の年齢になる時期に個別通知。予防接種は無料で、接種状況をチェックしている。

インフルエンザは費用の一部を助成。令和2年度は、1歳から6歳までの子どもが1回目80・9%、2回目79・4%、小学校1年生から6年生が1回目69・8%、2回目が67・5%、中学生は1回の接種のみで62・4%の接種状況である。

問 当町での5歳から11歳への新型コロナウイルスワクチン接種体制は。

【保健福祉課長】

医療機関と交渉中。集団接種と個別接種で準備を進めている。

【子宮頸がんワクチン接種】

問 本町での今までの実施状況と現在16歳から21歳までの接種は。

【保健福祉課長】

対象者の7・5%の方が少なくても1回の接種を受けている。県や医師会と協議したうえで、予防票の個別送付の対応をしたい。



子宮頸がんワクチンって？

【予防接種を受けた人に健康被害が出た場合の救済】

問 医療費等の給付を行う救済制度の住民対応や流れは。

【保健福祉課長】

医療に要した費用と医療を受けるために要した費用を支給。障害児養育年金、障害年金、葬祭料や死亡一時金を支給。予防接種健康被害救済制度の手続きについては、町の方で受付を行い、県を通じて国に上げる。

【公共交通機関との観光連携】

問 観光客誘致や交通ネットワークの再構築を考えた観光まちづくりの考えは。

【商工観光班長】

観光協会や県内のDMO、また南予市町と連携し観光振興策について協議を進めている。企画の機会を増やし、広域連携で滞在型の旅行商品造成を行い、その中で航空会社やJR等との連携を考えている。

【町長】

観光産業をもっと豊かなものに盛り上げるようにしていきたい。



スマホで簡単決済

【税のキャッシュレス化】

問 パソコンやタブレット型端末等から納付手続きができる税のキャッシュレス化への考えは。

【税務課長】

地方税の電子総合窓口、エルタックスがある。地方税共通納税システムの対象税目は順次拡大され、関係者が連携して電子納税を積極的に推進される見込みである。

問 大洲市のようにスマートフォンアプリを利用し、24時間納付ができるサービスの考えは。

【答 副町長】

調査研究しながら検討する。



(左から) 寺岡保議員、林博議員、下野安彦議員

地方自治振興発展の 功績を表彰

寺岡保議員、林博議員、下野安彦議員が20年の永きに渡り地方自治の振興発展に寄与されたとして、四国地区町村議会議長会 原田達也会長より四国地区町村議会議長会自治功労者表彰を受けられました。



1.石畳小学校 2.小田小学校 3.立川小学校 4.大瀬小学校

議場見学

町内4つの小学校(石畳・小田・立川・大瀬)3年生～6年生が、10月11日に内子町議会議事堂を見学しました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、オゾン脱臭機による空気清浄をし・マスク着用を徹底しました。

児童からは、「議会の開催数が年に4回しかしていないことにおどろきました」、「内子町の年間の予算が90億円と知って、けっこうなお金だなと思いました」、「議場に入るとき、一礼をして入りました。礼をして入ることで気持ちがとてもしゃきっとしました」、「選挙権をもつようになって、機会があれば、ぼうちょう席で議会の様子を生で見てみたいと思いました」といった感想がありました。

VOICE ~みなさまのこえ~

新 有権者の声

地元うちこの魅力を伝えたい

内子高等学校 3年 石井 彩稀



私は先日、内子座で開催された「えひめ景観シンポジウム」に参加しました。このイベントを通して、内子町には様々な地域の生活によって形成された美しい景観があることを、改めて感じることができました。私の家の周りには夜の星空が自慢ですが、五十崎には大鳳合戦、内子には内子座、小田には燈籠まつりといった魅力的な景観があります。

シンポジウムでは地域の祭りへの思いを友人と共に発表したのですが、そのメインテーマであった「いかざき大鳳合戦」に本校美術部は毎年参加しています。依頼のあった大鳳を40続近く描くのは大変な作業ですが、完成させた時には、「内子町ならではの景観」の継承に貢献できるという達成感を感じます。そして、他の地域の人々にも、この内子町のすばらしい景観を伝えていきたいと思います。

これからは、私たち高校生の視点で紹介の方法なども考えてみたいです。他県や外国の人にも広く内子町の魅力を知ってもらえるように、頑張って発信していきたいです。そうして、住民が町の魅力を発見し続けられる、町の伝統を新しい感覚と方法で守り続けられる、若者もまちづくりに主体的に参加できる、そんな内子町であってほしいと思っています。

【議会だより】モニター様より 貴重なご意見が届いています。

賛否が分かれた議案に対する各議員さんの賛否がよくわかってよかった。他は全会一致だったということでしょうか。少数意見は大切なので。(60代 男性)



我が両親も葉タバコ農家でした。近所にも葉タバコ農家が多くて、この時期になると買上額を競い合っていました。古き良き時代を懐かしく思い出しました。とても暑い時期の収穫で大変だったことを思い出します。(50代 女性)



子どもに関するお金は、削らないでほしいです。(40代 女性)



「議会だより」では、読者やモニター様からのご意見・ご質問に対して、経過報告並びに回答をしていく予定です。

議会広報常任委員会



東京都豊島区役所 区長応接室で締結式

うちこ×としま 文化交流都市協定締結

町並み、村並み、山並みが美しい持続的に発展するまち内子町とSDGs未来都市として「誰もが主役になれるまち 国際アート・カルチャー都市」の実現を目指す豊島区は、文化、芸術を中心に歴史や観光など幅広い分野での一層の交流を深めていくことにより更なる相互の発展を目指し、文化交流都市協定を12月27日に締結しました。

内子町まちづくり応援大使の竹下景子さん、関口照生さんにも同席いただきました。



二元代表制の特徴を伝える高沖秀宣さん

町職員も参加

内子町議会議員研修会

首長(市町村長)と議会議員の両方を住民が直接選挙で選ぶ制度である二元代表制についての研修を1月11日、内子自治センターで行いました。講師は自治体議会研究所の高沖秀宣代表。

二元代表制の特徴は、住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によってある種の緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、その地方自治体の運営の基本的な方針を決定(議決)し、その執行を監視し、また積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となることこそ、二元代表制の本来の在り方であると講演されました。



- 8日 愛媛県町村議会議長会議員研修動画視聴会
10日 伊方町議会行政視察〈議長・副議長〉
19日 全員協議会
内子町議会臨時会
議会改革特別委員会
29日 全員協議会
内子町議会臨時会
議会運営委員会



- 6日 全員協議会
6日～15日 内子町議会12月定例会
7日 議会広報常任委員会
8日 総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会
9日 予算決算常任委員会
全員協議会
21日 大洲地区広域消防事務組合議会定例会(大洲市)
大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会定例会(大洲市)
大洲・喜多衛生事務組合定例会(大洲市)
27日 議会広報常任委員会
27日～28日 文化交流都市締結(東京都豊島区)〈議長・副議長〉



- 4日 年賀交歓会(松山市)〈議長〉
8日・9日 成人式〈議長〉
11日 内子町議会議員研修
13日 議会広報常任委員会
14日 全員協議会
内子町議会臨時会
21日 産業建設厚生常任委員会
全員協議会
議会改革特別委員会

議会の 主な活動

募 集 中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください!
【QRコード】
内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと
交際費を掲載開始!



議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集 後記

コロナ禍の2年目の正月を迎えた。まだまだ収束は見えてこない。人類が誕生して約500万年と言われているが、その間、人類は幾多のウイルス、細菌との戦いに打ち勝ってきた。「この戦いにこそきつと勝つ」そう信じて自分にできることはきっちりやり切る。
(向井 一富)

【議会広報常任委員会】

委員長／関根 律之
副委員長／下野 安彦
委員／大木 雄
委員／向井 一富
委員／塩川まゆみ
委員／城戸 司

次の定例会は **3月4日(金)** 開会予定です。